未来づくり懇談会（平野）会議録

日　時：平成２８年8月１８日（木）
　　　　１９：００～２０：０９
場　所：平野自治公民館
出席者：市長、総合政策課長、
　　　　商工林業観光課長、総合政策課長補佐

１　開　　会　　１９：００　　　　　進行：秘書広報課長

２　あいさつ　　矢板市長

３　出席者紹介

４　矢板市設定テーマ

持続可能な泉地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口推計、小さな拠点構想等について説明。

Ｑ１　地域おこし協力隊は具体的に何をするのか。

Ａ１　地域に溶け込み、主に泉の魅力・イベント情報をＳＮＳ等で情報発信する。

Ｑ２　スマートＩＣ設置の今後のスケジュールを伺いたい。

Ａ２　スマートＩＣについては５月２７日に正式に新規事業化された。平成３３年３月の開通を目指し準備を進めている。アクセス道路や橋の予備設計をすでに発注し、平成２９年度は１年間かけてアクセス道路、矢板北パーキングエリアへ通じる道路の詳細設計を行う。平成３０年度以降に用地買収をし、出来たところから工事をしていくスケジュールとなっている。矢板北パーキングへ通じる道路は市道として整備するが、下太田や長井の皆さんの用地の協力がスムースにいけばもう少し前倒しになる場合もある。

５　意見交換

Ｑ１　平野地区の道路は舗装されていない砂利道が多い。農道でも必要なところは舗装して欲しい。また平野から寺山観音寺に行く道路は舗装にはなっているが、風が吹くと杉の葉が落ちて側溝が詰まってしまうので、年１、２回は木の葉を取り除いてほしい。

Ａ１　舗装されていない道路の整備については、立足では県単の農道整備事業を使い４００ｍほど整備する。今年度に入り農道整備に関する要望を市内各地から沢山いただいている。県の補助３割、市が７割と決して補助率が高い事業ではないの

で優先順位を検討し可能な限り事業が出来るよう進めていきたいと思う。

平野から寺山観音寺へ行く道路の整備等については、道路沿いの立木の伐採は市の事業ではなく県の事業となる、とちぎの元気な森づくり県民税事業というものがある。長井行政区では、長井から寺山へ続く道路をこの事業を使い整備した経緯があるが、１回行うと間を置かなくてはいけない事業なので、改善して欲しいとの要望を寺山地区から受けている。

Ｑ２　泉にはツツジや八方など観光ＰＲ出来る材料がたくさんあるので、もっとＰＲしていくべき。八方に来たお客さんからもっと早くにツツジの開花時期や開花状況を知らせてほしかったという話を聞く。

Ａ２　ツツジの開花情報等の情報発信については、ツツジのシーズンには週に１度は必ずどういった花が咲いているか情報を集め、皆さんに発信している。

平成28年5～6月	ツツジの開花状況調査を実施（全10回）
平成28年10月	八方ヶ原の枯れ枝のチップ化作業ボランティアの実施（66名参加）
平成29年5～6月	ツツジの開花状況調査を実施（全10回）
平成29年10月	八方ヶ原の枯れ枝除去作業ボランティアの実施（41名参加）
平成30年5～6月	ツツジの開花状況調査を実施（全10回）
※開花状況についてはホームページ、Facebook等で随時情報発信	

Ｑ３　平野停留所から並塚の間にスクールゾーンがなく道が狭い。特に橋の所は狭く、小学生も通学に使うので拡幅して欲しい。

Ａ３　県道塩原矢板線は県道なので、現場確認し、矢板市から矢板土木事務所に要望させていただく。

Ｑ４　イノシシ、シカ、ハクビシンによる農作物の被害がある。特にイノシシの被害がひどい。塩谷町では電柵を設置に５割の補助を出していると聞いているので、対策に対する補助金を出してほしい。

Ａ４　電気柵については国の補助制度があるが、地域ぐるみでの対応が必要であり、維持管理の負担が大きく県内で申請した例はない。電気柵を設置する場合、個人で行うよりも地域で設置した方が、効果があるので対応願いたい。

平成29年7月	矢板市有害獣侵入防止柵設置事業費補助金交付要綱を整備（市単独事業）上限50,000円
平成30年4月～	有害獣侵入防止柵設置事業費補助金の一部改正 上限100,000円

Ｏ１　県道５６号線の県民の森との分岐点がちょうど６３４ｍでスカイツリーと同じ高さになる。冬にはそこからスカイツリーが見えるので、立て看板を作って欲しい。また、日本に初めてプロボクシングを持ってきた渡辺勇次郎は矢板出身なの

で、片岡駅構内に「日本プロボクシング生みの親渡辺勇次郎生誕の地」という柱を立てて欲しい。

６　閉　　会　　２０：０９